

金沢市景観総合計画改定の骨子案について
パブリックコメントでのご意見

募 集 期 間 令和8年2月26日 ～ 令和8年3月27日 意見数：3件

No	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
1	石川県の玄関口である都ホテル跡地について、北陸一番の高さの建物を目指すのではなく、本格的なオペラ劇場とハイグレードホテルを誘致するなど、事業者や県、市が一体となって検討してほしい。このままでは、金沢を訪れる人は減少するという危機感を持って対処をお願いします。	本市では、金沢駅から武蔵、南町、香林坊、片町に至る都心軸沿線エリアが、都市再生緊急整備地域（金沢駅東地域）として指定されています。地域指定にあたって、産学金官、まちづくり・地域団体等で構成する準備協議会において、都市再生の目標・方針となる地域整備方針を定めており、金沢駅周辺区域については、金沢の玄関口としての拠点性を生かした多様な都市機能を集積することとしています。事業者に対しては、地域整備方針に沿った開発を求め、地域整備方針との整合や都市再生への貢献などについて協議を行っていくこととしており、事業者の創意工夫を生かした都市再生事業等の実現を期待しています。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
2	金沢市景観総合計画改定案に示された「歴史的資産の継承」「地域の時間と暮らしに根ざした景観形成」「市民等との協働の深化」に共感します。本計画の考え方に関連し、具体例として金沢都ホテル跡地の活用について、景観との調和の観点から、高層ビル計画については、金沢らしい歴史的景観や周辺との連続性の観点から慎重な検討が必要と考えます。また、当該地の暫定的な土地活用について、民間所有地であることを踏まえ、市が期間限定で借り受け、暫定活用することを提案します。原状回復を前提とし、芝生空間、キッチンカー、マルシェ等の軽微な活用により、所有者の負担やリスクを抑えた運用が可能と考えます。こうした暫定活用により賑わいや人の流れを創出することは、将来的な開発価値の向上にもつながり、土地所有者にとっても意義のある取り組みになると考えます。金沢の魅力と価値を未来へつなぐためにも、市民の声を反映した景観まちづくりの実現を期待します。	本計画の基本理念や今回の改定の趣旨に共感いただき、ありがとうございます。引き続き、計画に即した景観施策の運用に努めていきます。都ホテル跡地における開発計画については、事業者に対して、地域整備方針に沿った開発を求め、地域整備方針との整合や都市再生への貢献などについて協議を行っていきます。また、当該地の暫定的な土地利用に関して、いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。
3	金沢市の景観について、住んでいる側からの意見として、東山の川沿いに住んでいるが山側は景観保存地域で町家に対しては補助金が出るようだが70年代のただの古い家には何のメリットもない。向かい側に最近新しくマンションが出来たがおかげで景観が悪くなった。一体誰の為の景観なのかと、疑問に思う。 また、景観保護の為の工事として、数年に一度行われる梅ノ橋の大規模補修工事が非常にうるさい。通路のコンクリートをはがす轟音が何日も続き、歩道の石畳がしょっちゅう傷んで毎年補修している。	金沢の景観が市民によってつくられ、市民のためのものであることは、本市の景観形成における基本的な考え方であり、本計画にも記載いたします。東山界限については、地区住民との協働によって、まちなみの保全が先駆的に図られてきた地域であり、伝統的建造物群保存地区やこまちなみ保存区域をはじめ、歴史的な街並みとしての価値を有し、そのために景観における規制が強い区域となっています。また、金澤町家は魅力ある金沢の大切な景観構成要素のひとつであり、その保全のための施策を行っています。梅ノ橋などの橋梁の改修工事につきましては、近隣の皆さまにご迷惑おかけしておりますが、良好な景観形成と安心安全を確保する維持管理のための工事であり、ご理解いただきますようお願いいたします。